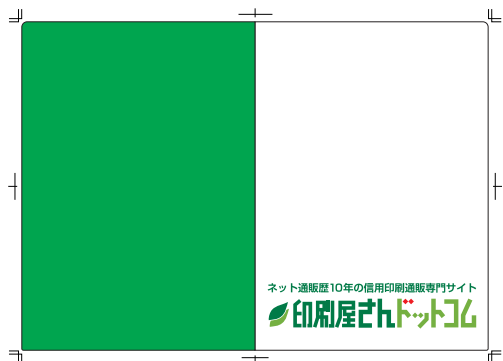
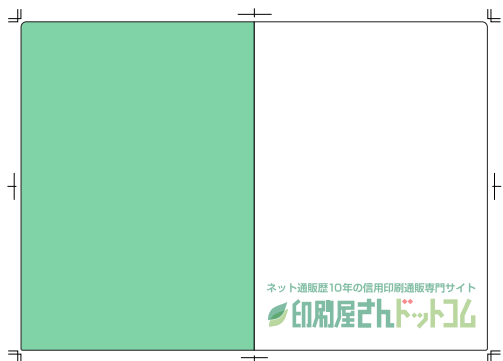


ルール式クリアフォルダ作成時の注意点

クリアフォルダは透明のポリプロピレン（PP）を使用していますので、写真等の絵柄の部分が無色透明になってしまいます。そこで、**絵柄の下に白を打つことによって、透けにくくします。**これを「白打ち」といいます。ただし、デザインによっては写真やイラストを印刷する場合でも白打ちしない場合もあります。
※白打ちをしない場合は、透けて（薄く）見えます



「白打ちあり」の場合



「白打ちなし」の場合

※Illustratorのみの対応とさせていただきます

（すべて文字のアウトラインを作成してください）

※プロセスカラー（CMYK）データと、別レイヤーまたは別ファイルにて白打ち用のデータをご入稿ください。
（白打ち用のデータは、K版ベタ塗り（100%）で作成してください）

※ご注文の際には、JPGデータでも結構ですので必ず出力見本をご送付ください。

●白打ちデータの作成方法●

PP素材は印刷時に伸縮が起きますので、絵柄と々大きさに白打ち用のデータを作成しますと、ズレによって白が出てしまいます。
そこで、白打ち用のデータは、絵柄より「-0.1mm」オフセット（内側に入れる）します。

1）プロセス版と同じファイル内で新規レイヤーを作成して「白版」と名前をつけてください。

2）白うちが必要なオブジェクトを選択し、
「コピー」→「白版用レイヤー」に「全面ペースト」その後、
「オブジェクト」→「パス」→「パスのオフセット」を選択します。
オフセット値を「-0.1mm」と入力します。
角の形状・比率は、データによって調整してください。

※線がある場合はパスのオフセットをする前に
「オブジェクト」→「分割・拡張」を行って下さい。
この時、必要以外のテキストは「ロック」をかけておくと便利です



「ウインドウ」→「パスファインダー」で合体します。



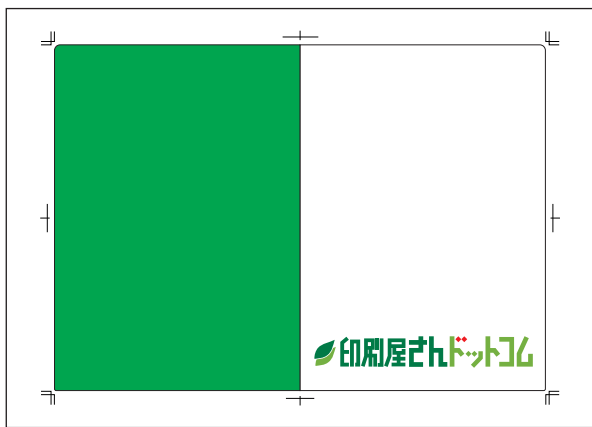
3）塗りを「K100%」にして出来上がりです。

●印刷屋さん：元の絵柄データ

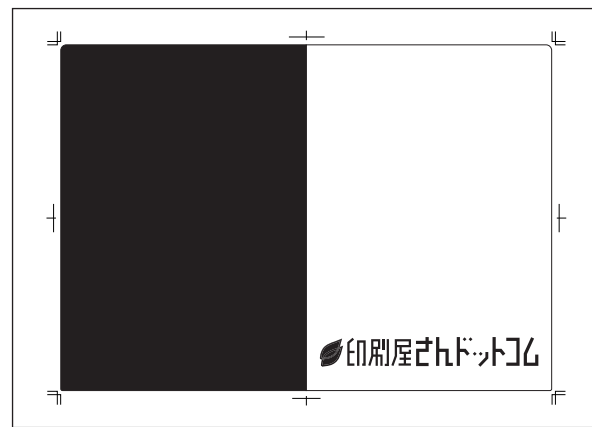
●印刷屋さん：白打ちデータ

印刷屋さん

■プロセス版（元データ）



■白打ち版



+

【ご注意!】

クリアフォルダの素材であるポリプロピレンの性質上、まれにズレが生じることがございます。
このズレを最小限にするためにも、白打ち用のデータは上記方法にのっとり、製作ください。
※少々ズレが生じることは、何卒ご了承ください

素材の伸びによるズレ

